

3-5. 史跡地の眺望景観

前章にも示すように、玉東町の地形の特徴は南北の山地・丘陵地の間に浸食による谷があり、谷部には三池往還や国道208号線、JR鹿児島本線が通る。

本史跡を構成する遺跡群の立地状況として、横平山古戦場と二俣瓜生田官軍砲台跡・二俣古閑官軍砲台跡・田原坂古戦場はお互いに眺望がきき、関連性のあるまとまりのある遺跡群である。一方、半高山古戦場は金峰山三ノ岳のふもとに位置することから標高も高く、他の遺跡から離れた位置にある。

また、木葉山麓の高月官軍墓地や宇蘇浦官軍墓地、正念寺等は三池往還沿いの低地帯に立地する一連の遺跡群である。

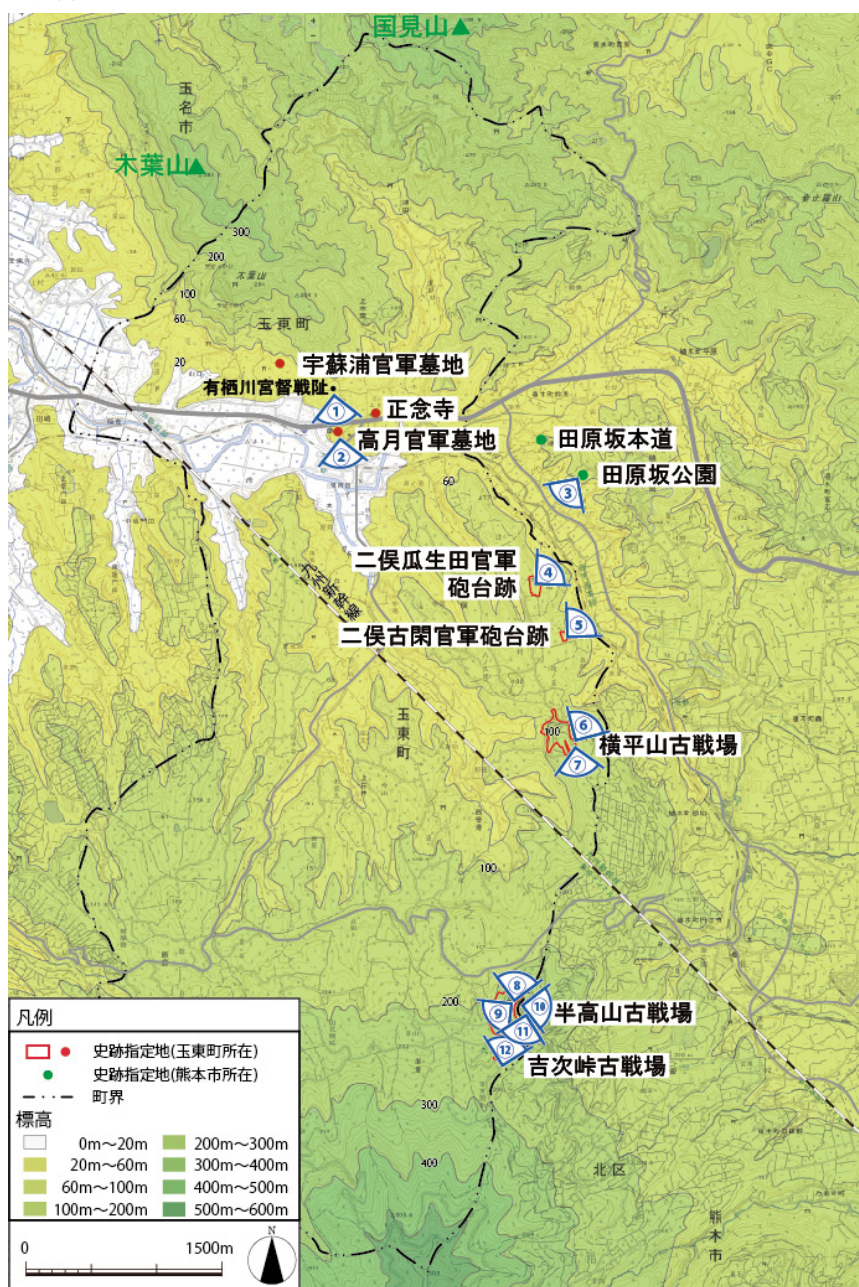


図 39. 玉東町の地形・眺望とその視点場

		
<p>①有栖川宮督戦の地から半高山・三ノ岳方面への眺望 三ノ岳とその左に半高山が見える。町の南北の地形がわかる。東西に横断する新幹線の線路も確認できる。</p>	<p>②高月官軍墓地から半高山・三ノ岳までの眺望 ①と比較してやや標高が低くなるが、半高山・三ノ岳を望むことができ、周辺の民家との連続性や東部の二俣台地を確認できる。</p>	<p>③田原坂公園から二俣瓜生田官軍砲台跡への眺望 熊本市田原坂から約1kmの二俣瓜生田官軍砲台跡の芝生広場やのぼり旗が視認できる。同程度の標高であることから、樹木の枝張りで見認範囲が変わる。</p>
		
<p>④二俣瓜生田官軍砲台跡から田原坂方面への眺望 ③の反対側にあたり、田原坂公園が見え、慰霊碑や台地前面の植込み等が目印となる。二俣瓜生田官軍砲台跡側の支障木で位置によっては田原坂公園が見えない。</p>	<p>⑤二俣古閑官軍砲台跡から田原坂公園への眺望 この場所は砲台跡であったことから田原坂を砲撃するための眺望があったことが推測できるが、現在は民家等で遮られて田原坂まで見通すことはできない。</p>	<p>⑥横平山公園展望台から田原坂方面への眺望 田原坂まで対峙しない向きになるが、地上三階建ての展望台から位置が分かる程度には視認できる。熊本北部の山鹿～菊池方面の山並みまで望むことができる。</p>
		
<p>⑦横平山公園から果樹園への眺望 横平山公園山頂のトイレ裏からは、眼下になだらかに広がるミカン畑を見ることができる。現代のミカンの里としての営みが感じられる。</p>	<p>⑧半高山公園から田原坂方面への眺望 半高山公園の北端から、田原坂を見通すことができるが、約4kmの隔りがあるためわかりづらい。標高の高さから二俣台地等の地形や、戦争の全体像を把握できる場所といえる。</p>	<p>⑨半高山公園から有明海・二ノ岳方面への眺望 西部の原倉地区を望む。激戦地となった後、昭和初期の開墾を経て現在まで良好な景観を創出している点が評価され、2020くまもと景観賞の奨励賞を受賞した。有明海や雲仙まで見ることができる。</p>
		
<p>⑩半高山公園から熊本平野・阿蘇方面への眺望 半高山公園の東側は、ミカン畑と熊本平野が広がる。天気の良いと阿蘇山の噴煙も見える。</p>	<p>⑪半高山公園から吉次公園への眺望 半高山公園から少し下った道路から、吉次公園や周辺の段々畑を見下ろすことができる。</p>	<p>⑫吉次公園から半高山への眺望 半高山の全体を見ることができ、駐車場や多目的広場、半高山の頂上が見え、峠を挟んで対になる地形がわかる。</p>

3－6．木葉駅周辺及び各遺跡を回遊するコースについて

玉東町に公共交通機関で訪れる場合には JR 鹿児島本線木葉駅および木葉駅前に停車するバスの利用が考えられる。また、車等で訪れる場合には国道 208 号線を通ることが考えられる。こうした町の交通状況から、指定域を公共交通機関や車で訪れる場合には、木葉駅がポータルとしての機能を果たすことが想定できる。

以下に、木葉駅周辺の状況及び指定域の回遊のために紹介されている既存のコースについて示す。



図 40．駅北側ロータリーの様子

(1) 木葉駅周辺の状況

現在の木葉駅とその周辺に位置する施設についての状況を整理し、課題を抽出する。

1) 木葉駅周辺施設の概要

現在、木葉駅前には北側に 3 つの施設と付随する駐車場、南側には公園がある。駅の開札は北側のみであり、南側へは図 40 に示す緑色の歩道橋で移動することができる。

それぞれの施設概要を以下に示す。

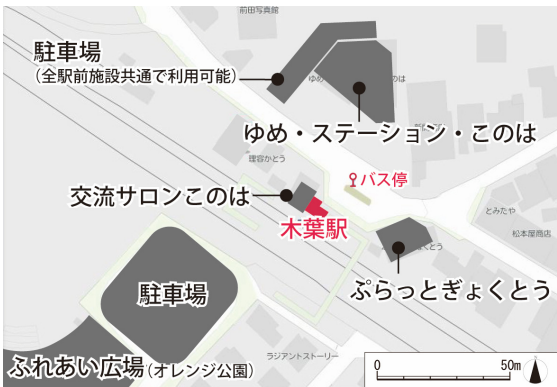



図 41．駅および周辺施設の位置図

ゆめ・ステーション・このは	
開館時間：9 時～18 時（月曜休館）	運営主体：指定管理 (JV:九州綜合サービス(株)、 (株)くまもと健康支援研究所)
概要：交流施設として公営塾やクラブ活動・憩いの場としての利用を目的に、社会資本整備総合交付金により平成 31 年(2019)年に開館。	
施設内機能 ・物販コーナー（野菜・果物・お土産・雑貨） ・カフェ（カウンター・テラスで飲食可能） ・円形ホール（コンサート・ヨガ等の利用） ・ロビー・観光情報コーナー ・会議室・管理室（2 つの研修室・小会議室） ・トイレ	

ぶらっとぎょくとう	
開館時間：9 時～18 時（月曜休館）	運営主体：（一社）ぶらっとぎょくとう
概要：おもに観光情報発信を目的として、地方創生拠点整備交付金により平成 30(2018)年に開館した施設である。	
施設内機能 <ul style="list-style-type: none">・物販コーナー（日用品・お土産）・観光情報コーナー ※詳細は P57 へ・トイレ	
交流サロンこのは	
開館時間：〈月曜〉8 時 30 分～16 時 30 分、〈火曜～日曜〉8 時 30 分～18 時	運営主体：玉東町
概要：木葉駅改札口横の待合スペース。町民の交流や情報発信の場所として設置された。	
施設内機能 <ul style="list-style-type: none">・待合スペース・図書コーナー・駅ピアノ（令和 2 (2020)年 12 月設置）	
駐車場	
概要：すべての駅前施設に共通して無料で利用できる駐車場。	運営主体：玉東町
駐車可能台数 <ul style="list-style-type: none">・普通車 33 台・軽自動車用 2 台・身障者用 1 台合計 36 台	
ふれあい広場(オレンジ公園)	
概要：木葉駅南側に位置する大型複合遊具のある公園。平成 29(2017)年に完成。	運営主体：玉東町
<ul style="list-style-type: none">・大型複合遊具・東屋・トイレ・駐車場・バスケットコート	

2) 木葉駅周辺施設の機能配置

木葉駅北側の3施設の現在の使われ方について、機能ごとに色分けしたのが下図である。複数の施設に、物販コーナーや観光情報コーナーが分散している状況である。

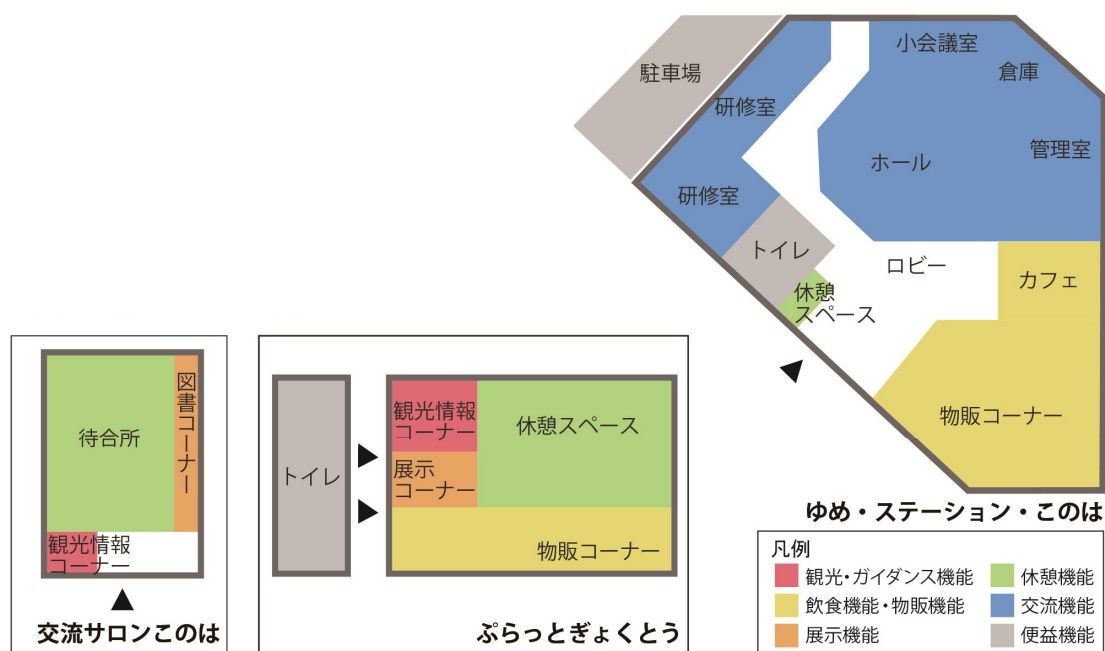


図 42. 駅前施設機能の現況

3) 木葉駅前ガイダンスコーナー・木葉駅周辺の状況

現在、玉東町内に独立したガイダンス施設はなく、駅前の施設であるぷらっとぎよくとうの一部にガイダンスコーナーがある。西南戦争関係のパンフレットが配架され、遺物が展示されている。同じ施設内の物販コーナーにスタッフがいるが、史跡・観光案内のための常駐スタッフはいない状況である。



図 43. 入口のガイダンスコーナー



図 44. 遺物展示状況

(2) 「西南戦争ガイドマップ」戦跡巡りコース

作成主体：植木町・玉東町西南戦争遺跡群連携保存活用協議会

作成経緯：植木町商工観光課・植木町観光協会と玉東町産業振興課が策定したコースを元に平成23(2011)年に策定。全4コースあり、JR木葉駅を起点に徒歩で回遊するコース、自動車で回遊するコース、九州自動車道植木ICを起点に自動車で回遊するコースがある。

- 内容：1 西南戦争戦跡巡り玉東ルート（車または徒歩）
2 西南戦争戦跡巡り植木ルート（車）
3 西南戦争三大激戦地ルート（車）
4 西南戦争連携活用トレッキングルート（徒歩）

活用状況：協議会解散後は熊本市及び玉東町各自治体でマップを印刷し、玉東町の木葉駅前やふれあい交流館、ぷらっとぎょくとう、熊本市の田原坂西南戦争資料館に設置。各種イベント等で配布している。



図45. ガイドマップ表紙



図46. コース内容

(3) 「西南戦争遺跡ウォーキングマップ」紹介コース

作成主体：玉東町教育委員会

作成経緯：平成27(2015)年に作成し、木葉駅を起点に徒歩で巡る7～13kmの4コースを紹介するもの。

- 内容：A 三池往還沿いの歴史のある町並みと西南戦争関連遺跡を巡るコース
B 田原坂の激戦地を巡る歴史ロマンコース
C 西南戦争歴史パノラマビュースポットを巡るトレッキングコース
D パワースポットを巡る寺社散策コース

活用状況：令和2(2020)年3月第3刷、玉東町の木葉駅前やふれあい交流館、ぷらっとぎょくとう、熊本市の田原坂西南戦争資料館に設置。各種イベント等で配布している。



図47. マップ表紙



図 48. ウォーキングコース（地図上のルート表示なし）

（4）玉東フットパス※コース

作成主体：玉東町教育委員会
作成経緯：平成 29(2017)年度に、西南戦争遺跡と町域の文化財の周知啓発のために、徒歩で巡るフットパスのための 4 コースを整備した。今後の展開として、田原坂を含めたコース開発等を行う予定である。表 16 にコースの概要を、図 50 にコースの位置を示す。

内容：表 16 参照
活用状況：木葉駅傍「ぷらっとぎょくとう」においてコースマップを条件付き配布している。令和元(2019)年 5 月に発足したガイド団体「玉東フットパス愛好会」が年間を通してイベントを開催し、コースの維持管理を町と協働して行っている。

※フットパスとは、地域のありのままの景観や文化を楽しみながら歩く活動のこと。



図 49. 各マップの表紙

表 16. 4 つのフットパスのルート詳細

1 木の葉の町並みと三池往還コース(木葉駅発着)	
コース距離 約 4km (脇道コース約 5.7km)	所要時間 約 2 時間 (脇道コース約 3 時間)
木葉山麓の低地に広がる木葉地区の小路をゆっくり楽しむコース。古くから交通の要衝として栄え、江戸時代に整備された三池往還沿いの歴史ある建物、西南戦争の政府軍基地、伝統工芸品「木葉猿」の窯元等を見ることができる。	

2 白木・山北八幡宮コース(木葉駅発着)	
コース距離 約 5km (脇道コース約 6.7km)	所要時間 約 2 時間 30 分 (脇道コース約 3 時間 30 分)
白木地区は玉東町の中心の平野部。1300 年の歴史を誇る山北八幡宮や年の神水源等のスポットをめぐり楽しむコース。	
3 二俣台地と西南戦争遺跡コース(木葉駅～田原坂駅)	
コース距離 約 6km	所要時間 約 3 時間
町東部の標高 100m の台地は、東西に 2 つに分かれていることから二俣台地と呼ばれている。西南戦争では田原坂の砲撃をし、横平山は激戦地となった等歴史の舞台となった地区である。歴史を学びながら歩くコース。	
4 ミカン畑と吉次往還コース(半高山公園発着)	
コース距離 約 3km	所要時間 約 1 時間 30 分
金峰山三ノ岳のゆるやかな裾野に広がる原倉地区は、日当たりと風通しがよく果樹の栽培に適しておりさまざまなフルーツの産地。西南戦争での激戦地である半高山古戦場では、高地ならではの絶景を楽しめる。	

(5) 九州自然歩道(田原坂二の岳コース 玉東町木葉～熊本市河内町野出)

九州を一周する歩道である九州自然歩道が町内を通る。町北部の三池往還から国道 208 号線を通過し、熊本市の田原坂を経由して、横平山、半高山を通り金峰山へとつながる(図 50)。町内には九州自然歩道のサインが設置されている。

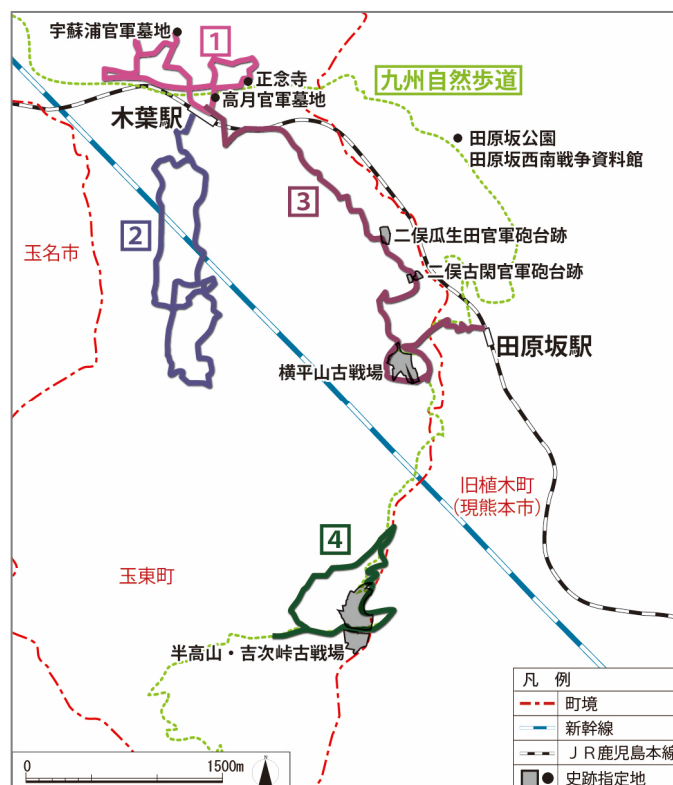




図 50. フットパス 4 コースおよび九州自然歩道の位置図

3-7. 田原坂西南戦争資料館（熊本市）

隣接する熊本市には、田原坂西南戦争資料館がある。西南戦争について学ぶことができる施設であり、玉東町の史跡地とあわせて見学することで、見学者の理解を深めることが期待できる。資料館周辺の屋外展示とあわせて、施設の概要を以下に示す。

開館時間：9時～17時（年末年始休館）	運営主体：熊本市
概要：平成27(2015)年にリニューアルオープンした歴史学習施設で、時代背景や戦いの様子を資料の見学や映像での体感により学ぶことができる。（入館料：大人300円 小中学生100円）	
アプローチ展示室 幕末から西南戦争に至る時代背景を時代毎に追った巨大壁画。右側には壁画に関連する実物資料や、幕末維新期の資料等も展示している。	
体感展示室 田原坂の戦いの戦場をイメージしたジオラマで、陣地の中にいるような体感ができる。連動した映像からは、砲弾の着弾音、振動、小銃弾の飛来立体音や、再現映像が映し出される。	
検証展示室 戦場での衣服、食料等の資料や、肉筆の手紙、従軍関係者の写真や戦死者名簿等、実際に戦った人々についての展示がされている。	
企画展示・体験学習ホール 無料スペースで、企画展示や体験学習を行う。休憩、集合場所としても利用可能。	

弾痕の家（復元建物） 資料館に隣接した展示室。	
戦没者慰霊碑 碑は遠方からも目印として視認できる。碑の背後には戦没者の名前が刻まれている。	
パノラマサイン 資料館外のデッキから、玉東町の二俣瓜生田官軍砲台跡を正面に見ることができ、サインに表記されている。	

3-8. 各遺跡への誘導サイン設置状況

玉東町および熊本市植木町にある誘導サインについて、以下の図に整理した。本史跡は2つの自治体にまたがっていることや、熊本県が包括的に観光案内板等を設置した経緯があることから、誘導サインが3種類に分類できる。

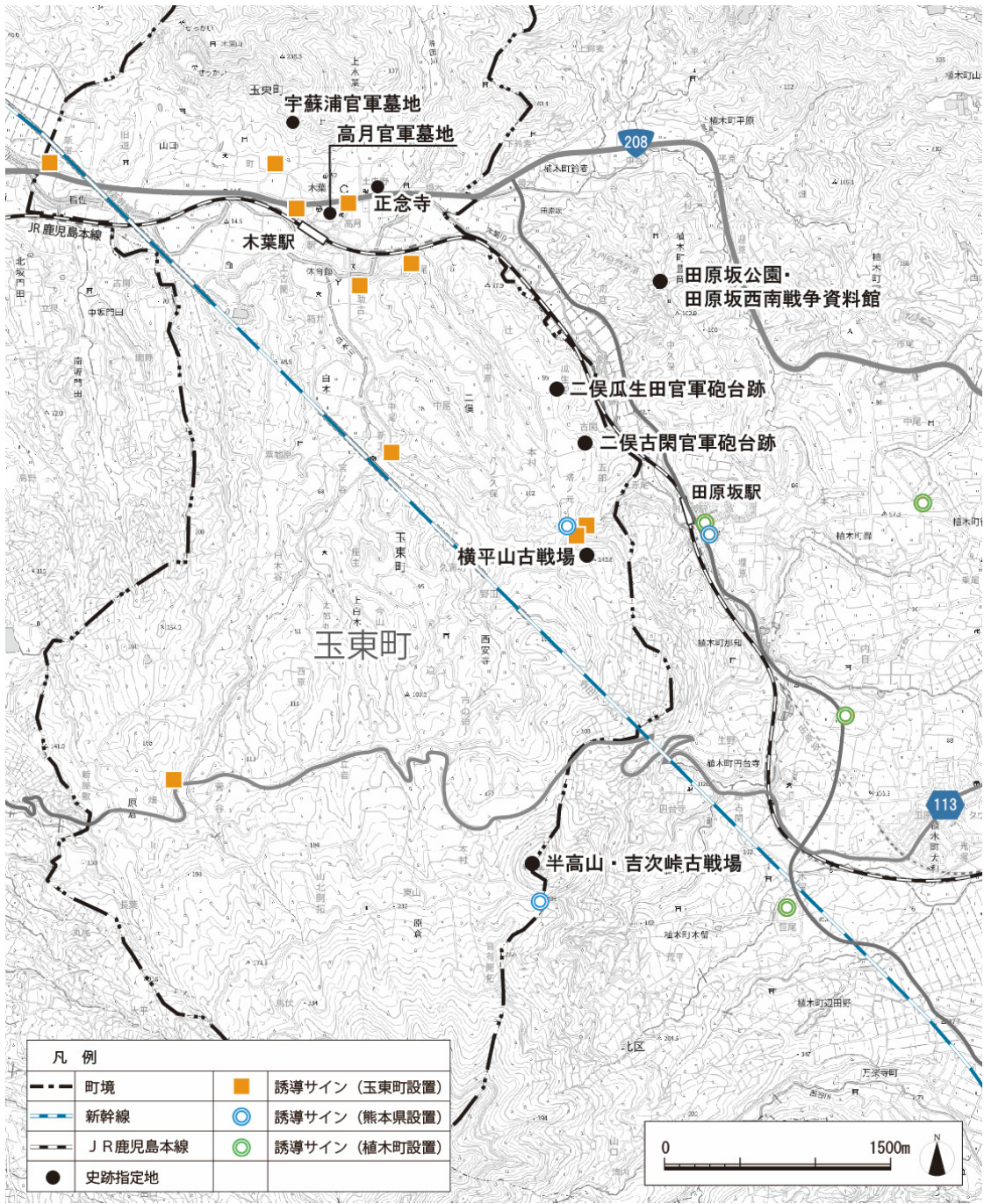



図 51. 玉東町および周辺の西南戦争遺跡への誘導サイン設置状況

表 17. 西南戦争遺跡への誘導サインの種類

誘導サイン(玉東町設置)	誘導サイン(熊本県設置)	誘導サイン(植木町設置)
平成 10(1998)年サイン計画策定、 平成 12(2000)年設置	平成 12(2000)年に各遺跡説明板 と併せて設置。説明板については、 平成 24(2012)年に板面を 5 か国 語表示に変更。（二俣瓜生田官軍 砲台跡、半高山古戦場説明板は平 成 30(2018) 年設置）	平成 20(2008)年設置。旧植木町 によって設置された。
		

サインについての課題を以下に整理する。

- ・各遺跡の名称が変わっているものもあり、来訪者に混乱をきたす。（図 52）
- ・設置されて月日が経過しているため、道路状況が変化しており、遺跡への誘導できていない。（図 52）
- ・主要幹線道路（国道 208 号・国道 3 号）や駅等からの誘導ができていない。
- ・J R 九州鹿児島本線「木葉駅」「田原坂駅」、九州新幹線「玉名駅」から誘導できていない。
- ・高速道路の植木 I C、菊水 I C から誘導できていない。



図 52. 複数設置された誘導サイン
（左：熊本県 右：玉東町）